



114
A 911



ガセツト千百五十二号彼十月十一日即ち
我八月廿七日

千八百六十六年より前、ビスマルク未だ微々たる
外國方の官吏よりレウラナントの官に居り、李福士
の使節に属して、フランルクホルトに在り、頃の
話あり、或日此役より、マドリードの、プレシデ
ント、カウント、デュレンといへる人の、処に至り、
此人、艦隊の、供として、ビスマルクに逢たり、ビスマ
ルクに、其無礼を、愠り、足下の所為を、理に當り、
り、實に今日の、熱を、堪難し、とて、直ちに、其上衣を

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈



脱ぎ去りてある主人其氣色を惜んで大に赤面して急ぎ衣服を整へこもより二人厚く文を結ひしとそ又其後久しあらざりて兵隊検査の時ビスマルクの盛に軍服を着し紅切錢及金星あるといふを飾りて場に出しを塙地利の候見て少しく嘲弄の意を會きて此服飾を悉く戦功にて得るやと問ひしにビスマルク直に答へて然る此は皆此フランスの兵士にて我國の隣敵と戦て得る所ありといひしとを我國の敵に暗に塙地利を利するし

ガゼット

彼十月十二日

即ち我八月廿八日

上海新聞

数日前に我等「コレハ」と云人南京武署庫に急速に六百万の雷管を製するを命せし風聞ありしを記せし此頃之を命したるは甚く重大の原因あるを漢口より傳聞せり兼てよく人の知られたる武將リケイメンと云者がコレをコトゴイといふ人と争を生じて廢黜せらる其本國河南に逐ひ退けらるし河南の反徒を嘯

聚し其徳者とあり此兵を率てウチと漢口と
を脅かす之に依りて此二港の官吏より南京の奉行に早打を
以て外國の軍器及外國熟練の兵を出し急を應援せん
を請へりとの官報中記載あり其勢日を送りて巨
大に至りウチの官吏の驚愕一もあらず支那の政事
の錯乱せらる我輩既知する所一も六百方の備管を命
たりんと世人も知るや河南の人ふきは河南の及徒を將と
他日大事を為すに至るとも驚く足りも爾のみちし南京に
積蓄し外國の軍儀不意のを起しウチに及其兵の手
に落し保まんとし且若しオカニ留り人心能く偏向し

生じ得て人の長とある一人の將帥出来り自ら又徒
を徳轄し外國と親しく文結せし支那人驚愕し
て當今の潜夫汚吏輩國家を瓦解し臨よし然た
る者を放逐せしに至り人を疑ひあり

ガゼット千百五十五号彼八月十四日我九

月朔日

神代新聞

前累金と条約中の箇条を破りて近頃一令を下
し地方役人の免許を得し日本入る

決して外國人又土地を貸すを許さざると布告せり此免許を得るを容易ならん近頃或人此免許を得る為に既にコレコレ願ひ出んとせしを以り此垢と云人の地方役人より推知事中山を除ふされ共日本にて人の妨害を考む人種の最上恰好の手本あり此人は其平生の行状開化の凡そ之より當て翻譯し且記録し止むべき免許状中切要の一字を書換へしを以り其免許状を譯す譯官は真意の伝へて出しぬるを垢とす人書改めしあり若し其

時此瑕を見出さる人ら此免許状は無用の者とありしを以り然し日本も今日を遂に開化の赴むを以て自ら其國辱を顧みて其政府は汚名を蒙らざるべしの人を永く官使をもつべしとすなり

ヘラルド二千四百五十八号彼八月十七日即我九月四日

政府の権を一に歸し諸國の兵を合一し諸侯の兵を廢せんと迫る中より薩摩は近頃横濱にて六十門の大砲を買入りしあり

俄羅斯にては、大に戦争の備を為し、李鴻士もて
も其「レジメ」上の定数を充ち、且つ無量
の軍兵を聚むるの説あり、李鴻士の所為は
俄を目的とせしむるものと云へり
「ミストル、ジョールス」といふ人三年の間共和政を
云の大少領とあり、不時雑費の外は五十万フ
ラシクの俸を受給し、といふ説是は近し

ガゼット千百五十八号、彼十月十八日即ち
我九月五日

火山破裂の語

「バルリウセ、ゼー」の新聞の新火山と題せる条下
は五月廿八日、我四月十日附しあるゴスタブ、ワ
ルリスよりの書簡あり、下文に其抜萃あり、蓋し
てより諸人の憂慮し、推し測る、事件遂に惨
酷に、且不意に起るあり、(火山の破裂)「カミグ
」に島に即此事の起る地あり、数月前より
此島と「ボジヨット」及「セブリ」の住民等屢大地の震
動を、驚き、心を傷め、大災の至らん日を待
ち、是と云ふ「ミグ」に漸次、人民散亡せし
る、何れの地として、多分感及せざるを無あり

故に只近傍諸島の危害少なき所は逃避せり
又五月一日二明夕茅五字に至てガタルミ
村近傍の山中に雷の如き響起り時々大地激動
し其声空氣を裂き其勢漸く又増し大地は
又分裂し長サ千五百尺許の空隙を生じ其間
は煙灰土石を噴出し遠近の地上を覆へり其後
少時の間震動止まじしの大丸茅七時に至り
日の既暮人とも頃大爆一声滿天急火を
降らし此奇事を見人とも噴孔の畔りに聚り
来りし者二百余人震時埋死し此書状を發せ

一時に其死屍千余を掘出せり森林は火移り
て直ち四方に蔓衍し煙棉天に漲きりて人畜
逃げ迷ふ有様實に見るに堪さざりと云へり此
多島海中にては大山の破裂其例多し今回も
全く氣中頭象の前表さくし住人等危害の迫り
来りを知り得ざりしに不君儀と云ふ

